

衛星の安否情報サービス

- 普段は楽しく、災害時は素早く確実に -

市原美香 (東京大学大学院工学系研究科
航空宇宙工学専攻 中須賀・船瀬研究室)
<http://slowhunchattuj.blogspot.jp>

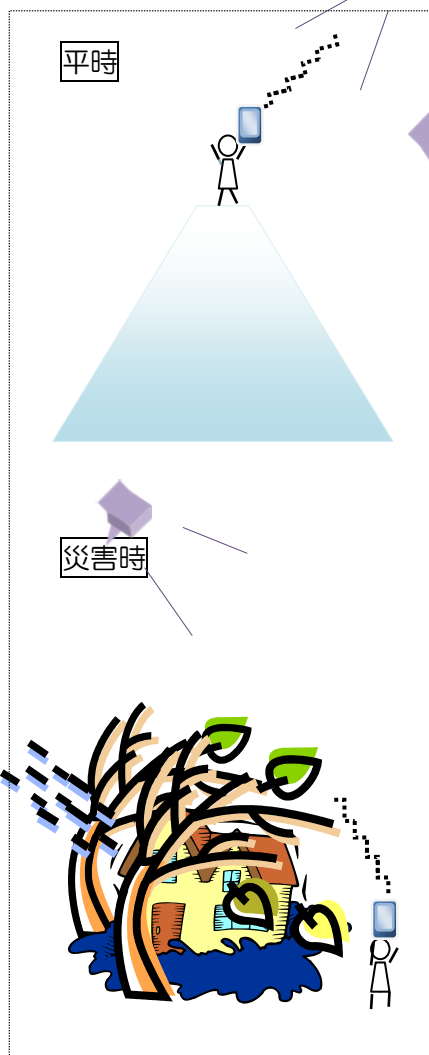
キーワード

- 宇宙利用の普及と促進
- 平時・災害時の併用サービス

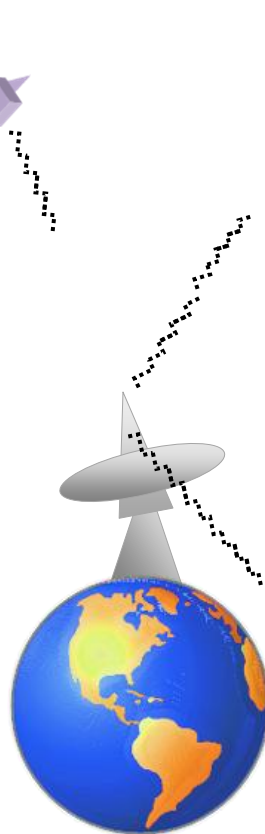
【概要】

- 2013年度打上げ予定のほどよし3・4号機で実現する災害時の安否情報サービス。
- 両基は光学センサーと Store & Forward 方式の通信機器を同時搭載している。衛星画像とテキストを組合せ、災害時の安否情報として活用する。
- 災害時の素早く確実な操作を確保するために、まず平時サービスを展開する。
初めに携帯不感地帯の中山間地で登山者向けサービスを提供、本サービスの有用性と衛星利用の容易性を一般の方々にご体感いただく。都市に戻った登山者がサービスを引続き利用して有用性・容易性を周囲に知らしめ、宇宙利用の普及と促進を達成していく。

1. 撮影・テキスト受信



2. 軌道を移動し 画像とテキストを 地上局へ

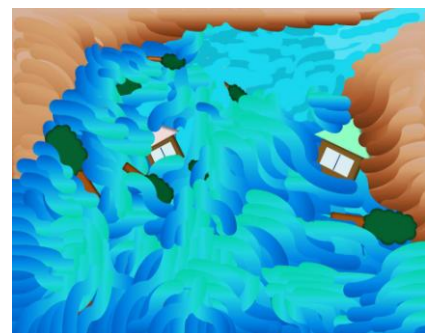


3. 指定されたメールアドレスへ送信



©Google earth

世界文化遺産に初登頂しました！



15人3世帯が孤立
北緯37度・東経135度の地点